

吉田たかお通信



5月市会で代表質問

「子どもの貧困対策」や「伏見観光の充実」を提言!



平成29年度、吉田たかおは公明党議員団副代表に就任。重責を担い、気を引き締めています。

5月19日に行われた5月市会本会議代表質問では、議員団を代表して門川市長に質問に立ち、「子どもの貧困対策」や「伏見観光の充実強化」など4点の政策課題を取り上げ、現場感覚あふれた議論を展開。前向きな答弁を勝ち取りました。

今年度の常任委員会は、教育福祉委員会に所属。福祉・子育て支援・教育などの重要課題を担当しています。

～「本会議代表質問ダイジェスト」～

子どもの貧困問題

Q 今年度から「子ども若者はぐくみ局」がスタートする。子どもの成長に応じた切れ目のない支援を充実する中で、子ども食堂などの活動に取り組んでいる団体に対して、様々な情報を提供するプラットフォームを構築するなど、具体的な支援を充実していただきたい。

A 今年度を「はぐくみ文化の創造と貧困家庭の子どもへの支援の元年」と位置付け、子どもの居場所づくり事業開設への助成制度やアドバイザー派遣事業などを実施してまいりたい。
(門川市長)

子育て世帯を支援する住宅政策

Q 広い住宅に暮らす高齢者の持ち家を借り上げて子育て世帯に貸し出すという「住み替え制度」は、子育て世帯に市内への転入を促す可能性が大きい。広報啓発を拡充し、窓口の簡素化と見える化を推進すると共に、補助制度の創設を検討していただきたい。

A 本年秋に「マイホーム借上げ制度相談窓口」を開設する。住宅セーフティネット法改正を受け、リフォーム工事等への補助制度の創設についても研究してまいりたい。
(植村副市長)

自転車走行環境の拡充

Q 京都市の自転車政策は内外から注目されている。外国人観光客が自転車を使用する際に役立つ多言語リーフを製作すべき。矢羽根タイプの自転車走行推奨帯が普及しつつあるので、啓発を拡充すると同時にアンケート調査を充実してはどうか。

A 昨年10月に策定したガイドラインに基づく自転車走行環境整備を、来年3月まで京都御苑周辺をはじめ約33Km実施すると共に、市民や観光客の自転車利用状況の実態調査も行う。
(門川市長)

伏見観光の充実強化

Q 伏見区の観光スポットは外国人観光客や修学旅行生で賑わっているが、周遊する観点が必要ではないか。京都南部の観光振興をクローズアップし、伏見の観光地を点から線、そこから面へと拡大するコーディネートを重視した振興策を実施するべきである。

A 歴史的な節目を迎える伏見の奥深い魅力を発信し、地元や民間事業者と連携してPRを強化する。伏見区内の回遊性を高め、観光客の流れを伏見全域に広げてまいりたい。
(岡田副市長)

ご意見ご要望をお寄せください!

- 事務所：京都市伏見区桃山与五郎町1-287
- 専用TEL：(080) 9804-7801
- 専用FAX：(075) 320-1624
- メール：yoshidash5@gmail.com

- フェイスブック： <https://www.facebook.com/takao.yoshida.79>
- ツイッター： https://twitter.com/yoshidash_komei

- ホームページ：
www.yoshida-takao.jp

吉田たかお

検索





あすの伏見へ **よし!だ**ッッシュ!! ニュース



文化振興の政策提言を提出
(2/24)



ダイゴローで市政報告
(2/24)



水素エネルギーカーを試乗
(2/26)



二条城東大手門式典
(3/22)



29年度予算案への賛成討論
(3/24)



十石舟の初乗り式典
(3/25)



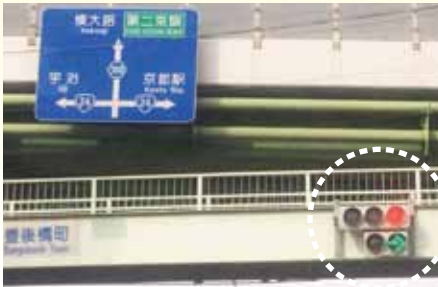
子ども若者はぐくみ局を視察
(4/7)



京都難病連定期総会であいさつ
(5/14)

安心安全の まちづくり

うれしい **実績集**



観月橋交差点に右折専用矢印が新設



小栗栖西団地にカーブミラー新設



小栗栖西団地の周回道路修復



大受団地の棟間道路に市街灯を新設



醍醐下山口町の危険地域にゾーン30指定



醍醐東合場町のマンホール修復



桃山南大島町の丹後橋通りの安全対策



醍醐高畑町交差点の信号待ちエリア安全対策